

楽しく読んで、楽しく知ろう、みやざきブランド。

マンガで
わかる

みやざきの ブランドの 取組



「食の安全・安心」
「太陽の恵みが育てた農産物」
「環境に優しい農業」



いのちに感謝

みやざきブランド推進本部 [宮崎県・JA宮崎経済連]



宮崎県認証
みやざきブランド推進本部

食の安全・安心

— みやざきブランドの「安全・安心」対策 —



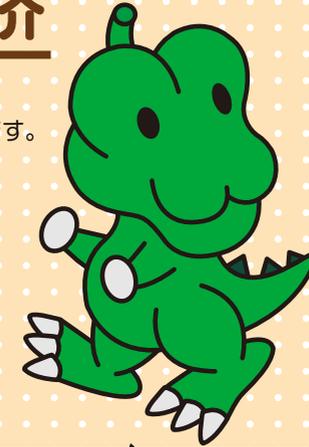
選ばれる理由、知ってください。

～宮崎は「安全・安心」「健康」「環境」にまっすぐ取り組む産地です～

みなさんは、宮崎の農業のこと、どれくらいご存知ですか？
実は宮崎県では、ブランド対策により「食の安全・安心」や「健康」、「環境」に正面から向き合い、まっすぐ取り組んでいます。そんな宮崎の農業のことを、マンガで分かりやすく解説しました。オリジナルキャラクター「グリーンザウルス」、「みやざき犬」といっしょに、楽しく学びましょう！

キャラクター紹介

このマンガの中で宮崎の農業を紹介してくれる楽しい仲間たちです。



グリーンザウルス

グリーンザウルスは、JAグループで生産されている宮崎県産促成ピーマン®の商品名・キャラクターであり、その袋やダンボールにはグリーンザウルスがイラストされています。愛くるしいでたちで、量販店でのイベント等で子供達に大人気のキャラクターです。

※宮崎県促成ピーマン共同計算委員会 (JA宮崎中央、JAはまゆう、JA児湯、JA西都)

宮崎県シンボルキャラクター「みやざき犬」



みやざき犬の「ひい」くん

出身:もちろん宮崎県
年齢:不明(いがいと若い?)
性別:不明(♂???)
観察メモ:
いつも前向きでしっかりもの。
自然いっぱいな宮崎が大好き。



みやざき犬の「むう」ちゃん

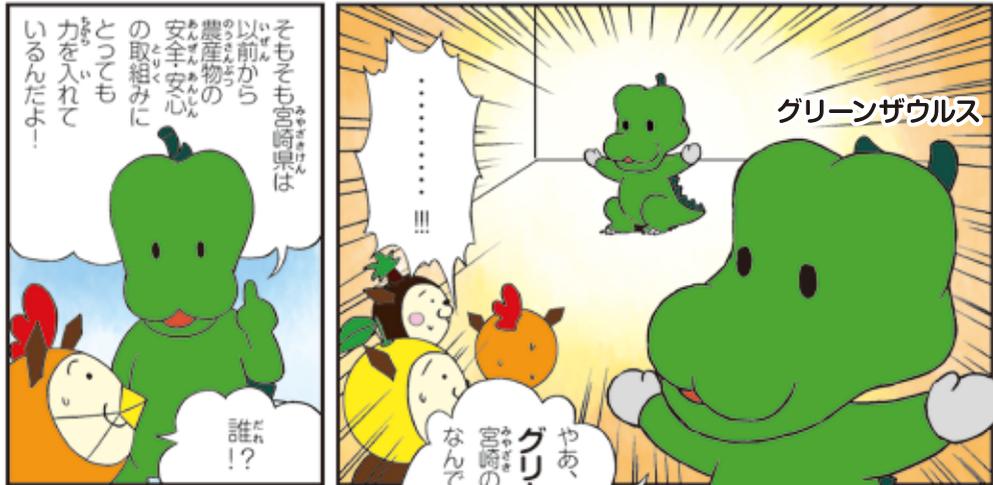
出身:とうぜん宮崎県
年齢:不明(若いとうわさ?)
性別:不明(♀???)
観察メモ:
ちょっぴりおちゃめで好奇心旺盛。
たのしい宮崎が大好き。



みやざき犬の「かあ」くん

出身:やっぱり宮崎県
年齢:不明(若いはず?)
性別:不明(♂???)
観察メモ:
おおらかでくいしんぼう。
おいしい宮崎が大好き。

みやざき犬使用許可第2410014号



※「残留農薬」とは…
農作物の生産過程で害虫の駆除や生長を調節する目的で使われる薬剤が残ったものを言います。食品衛生法によって野菜や果物ごとに基準値が定められ、基準を超えると食品の回収命令を受けます。



グリーンザウルス

やあ、ボクグリーンザウルス。宮崎の農産物のことならなんでも聞いてねー

その中でも代表的なものが「宮崎方式」と言われる残留農薬検査システムなのだ。

これは、宮崎が他県に先駆けて独自に開発したシステムなんだよ。



このように、宮崎県は消費者に「信頼される産地」を目指して安全・安心対策に取り組んでいるんだ。

こうした農業に関わる多くの人達の日々の努力により、消費者は安心して食生活を営むことができるんだ。

ちなみに、そんな取り組みをみんなに知ってもらうために、宮崎県では様々な方法で情報を発信しているんだ。

このQRコードもその一つだね。

グリーンザウルスくんもっといろいろ教えてよ〜!!

グリーンザウルスくんは？
グリーンザウルスくんがいない！
どこいっちゃったの!?

あれ、今までのこといって...

おろおろ...

そうかあ、宮崎県の食の安全・安心への取り組みはとっても進んでいるんだね。よく分かったよ。これでも安心して食べられるね。

ほっ、安心してました。

あれ!?

それだけではないよ。宮崎では約40%の農産物に「J-GAP」を導入して、年間約800検体を抽出して残留農薬を検査している。

「J-GAP」って、日本「J」が、日本「GAP」の「G」が、「J-GAP方式」の「J」なんだ!

分析可能農薬数の推移

年度	宮崎	A県	B県	C県
H20	320	213	152	315
H21	400	224	153	290
H22	401	224	171	309

※宮崎県内流通農産物(約300種類、国内で使用されている農産物:約400種類、世界で使用されている農産物:約800種類)

残留農薬検体数の推移

年度	宮崎	A県	B県	C県
H20	6,004	1,868	850	2,700
H21	7,126	2,076	811	2,457
H22	6,032	2,073	770	2,436

※宮崎の実績は、JAグループ宮崎及び県総合農業試験場での分析検体数を合計したものだ。

この方式を採用することで、残留農薬の検査に普通より約2週間かかるのが、宮崎ではなんと、最速で2時間で済んでしまった。

甘い〜。

宮崎県の取り組みがまさかこれだけだと思ってるの?

チキチキ...

へえ、これだけ素晴らしいチェック体制があれば大丈夫だね。

は〜?

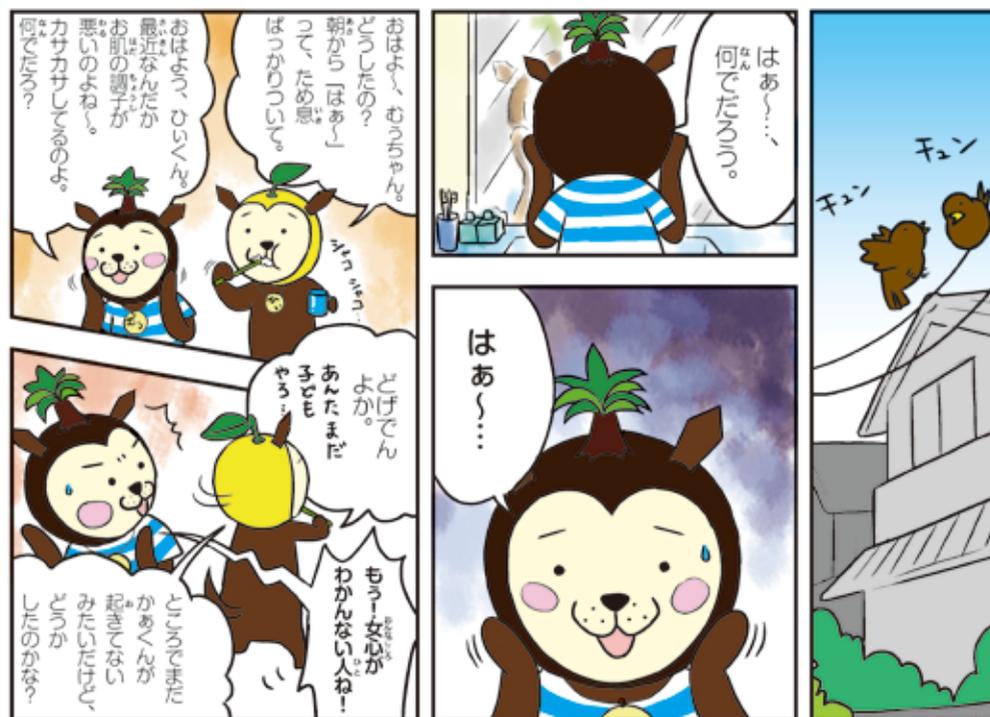
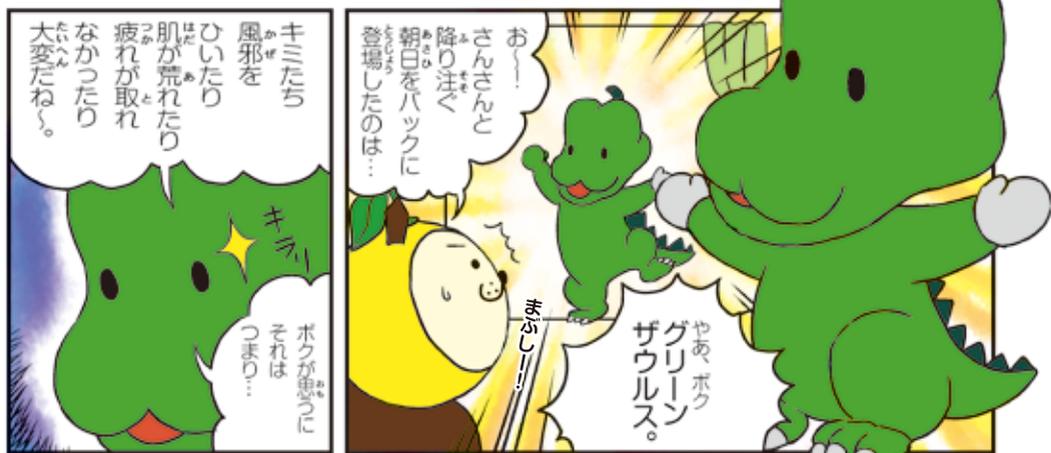
安心して食べてもらうためには、このようにして生産しているのが、点検もとても大事なんだ。

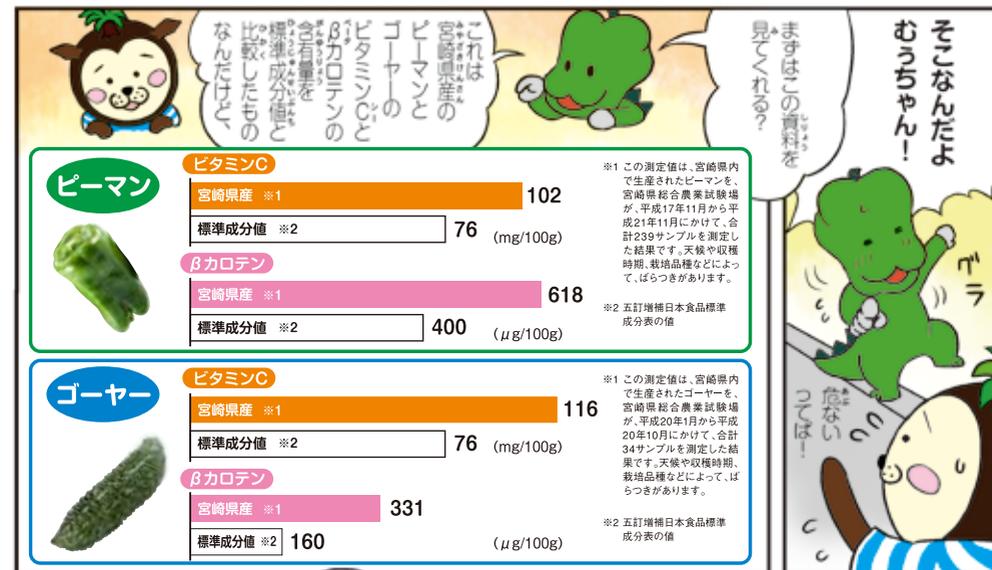
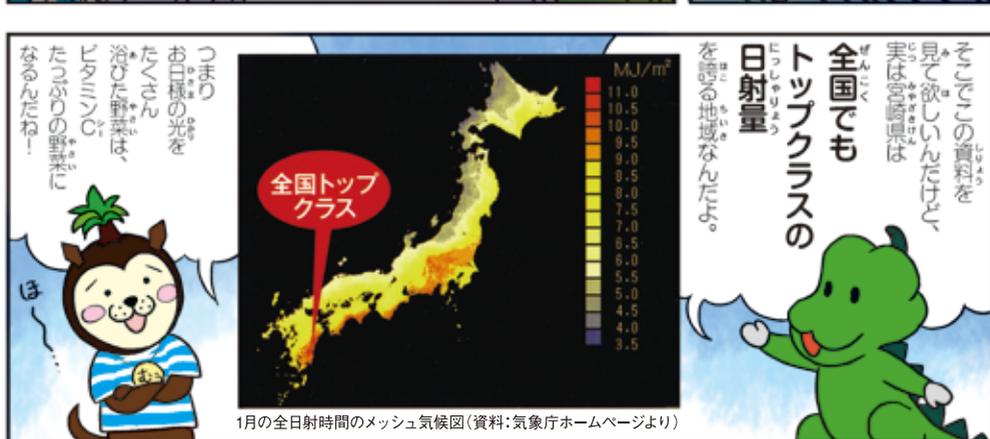
「J-GAP」を導入して、生産者が自分でチェックする体制しゅりを進めているんだ。

※「J-GAP」とは…
農作業ごとに、安全な農産物を生産するための管理のポイントを整理し、まとめたものことです。点検項目に沿って、農作業の正確な実施、記録、点検を行います。

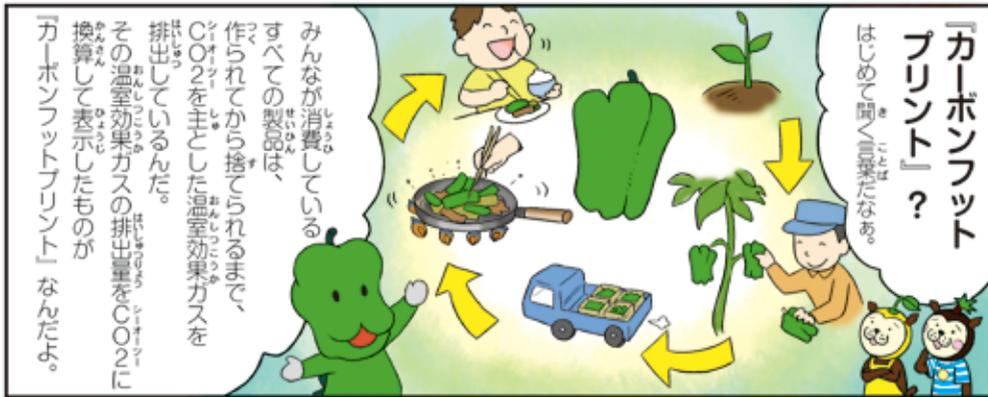
太陽の恵みが育てた農産物

— みやざきブランドの「健康」に着目した農業生産の取組み —





- これだけじゃないよ。他にもこれだけ多くの野菜でビタミンCが多く含まれていることが確認されているんだ。
- ピーマン、ゴーヤだけじゃない！太陽の恵みが育てた「みやざき野菜」は「ビタミンC」が豊富
- ズッキーニ
 - オクラ
 - たまねぎ
 - 京いちご
 - 黒皮かぼちゃ
 - 洋種かぼちゃ
 - かんしょ
 - ごぼう
 - 玉レタス
 - スイートコーン
 - キャベツ
- (五訂増補日本食品標準成分表と比較)
【宮崎県総合農業試験場及びJA宮崎経済連携へ】



へえ〜
「見える化」
ね〜!



宮崎県では、一部のピーマン産地で「見える化」の取り組みを行っています。このカーボンプリントの表示を行っています。

宮崎県は進んだ取り組みを
しているんだね〜

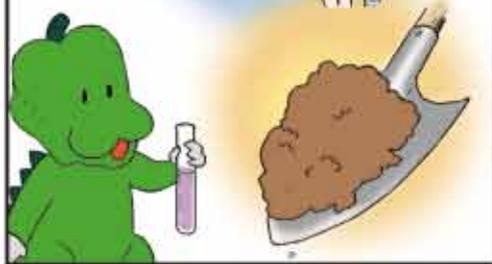


最近では地球温暖化・環境変化への関心が高まっています。宮崎県では農業生産においてCO2を減らすことはもちろん、環境に優しい資材の調達を怠りません。本のようなことを力を入れていきたいと思います。



① バランスの良い土作り

作物を育てる前に土を調べるんだ。その結果で土の状態に合う肥料を効果よく与えよう。無駄な肥料を使わず、バランスの良い土作りを行っているんだよ。



② 太陽の力で土壌消毒

作物が元気に育つためには健康な土が必要なんだけど、土の中には作物を病気にさせる菌もいるんだ。そんな菌などを殺菌するために、普通は薬剤を使うんだけど、宮崎県では熱い夏に太陽のエネルギーを利用した太陽熱土壌消毒を行っているんだ。



③ ビニールハウスの省エネ

冬の寒いピーマンハウス栽培で、ビニールを二重三重にして保温力を高めることで、暖房用燃料を減らす努力をしています。さらに一部の産地では、暖房用の燃料に製材の木くず屑を原料とした木質ペレットを使用して、重油なんかの化石燃料をできるだけ使わない努力をしています。限りの資源だから大事にしようね。



④ 使用済み農業資材のリサイクル

それから使用したビニールや栽培用資材はできるだけ捨てる前に回収して再利用しているんだ。

農業っていろいろのはたはた作物を作ってるわけじゃなくて、僕たちの生活を災害から守ったり、自然環境を守ったり、美しい景色をつくりたり、実はいろんな役割を果たしているんだ。

言い換えれば、農業ってじつは、環境との調和があって初めて成り立つものなんだ。だから環境に優しいことは、とっても大事なことなんだよ。



へえ〜
農業って、こんなに環境のことを考えながらやっているんだね。

なんだか騒がしいなあ。ところでご飯できた〜? **ガチャ** **すいー!**



ちょっと、かあくん! **いつまでゲームやってんの!**

電気の無駄つかいは環境に良くないんだよ!

かあくん! これからは僕たち環境に優しいでいからね。というわけで、明日からゲームは1日30分。いいね!

わ、分かりました! 以後気を付けます!

え、ええ〜...
ごめ〜。



かあくん! **ビシッ**



宮崎の様々な取組み

安全・安心 食の「安全・安心」の取組み



宮崎方式の
メリットって
何だろう？

宮崎県では、「宮崎方式」と呼ばれる残留農薬検査システムを確立し、畜産物と花きを除く全ての商品ブランドで、出荷期間中に月2検体以上の残留農薬検査を実施しています。

このシステムは、国内で使用されている農薬のほぼ全成分を約2時間で分析できるため、基準値を超えた場合は、迅速に出荷停止を行い、消費者に届く前に回収できる体制を構築しています。

「宮崎方式」残留農薬検査システムの特長

- より早く**
出荷前検査に取り組み始めました。
- より速く**
最速2時間で結果がわかります。
- より詳しく**
国内で使用されているほぼ全ての農薬約400種類を検査します。
- より厳しく**
不適合農産物の出荷停止に取り組んでいます。

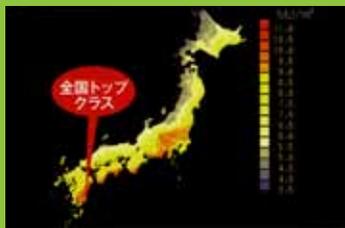
健康に貢献 「健康」に着目した取組み

宮崎県産野菜の栄養・機能性成分を調査した結果、多くの品目でビタミンCが、標準よりも多く含まれていることがわかりました。

※ 宮崎県総合農業試験場調査 ※ 測定した平均値を、五訂増補日本食品標準成分表の値と比較しています。

全国トップクラスの宮崎の日照量

近年、野菜のビタミンCなどは、日照量が多いと増える傾向にあることが分かってきました。



宮崎県産ビーマン(mg/100g)



ビタミンC

※ 五訂増補日本食品標準成分表の値

環境に配慮 「環境」に着目した取組み

環境に配慮した農業生産

環境問題に対する国民の関心が高まる中、農業生産活動においても環境保全に配慮した農業生産への転換が求められています。

宮崎県では、商品ブランド認証制度の基本要件に「土づくりの実践」や「使用済み資材の回収と適正処理」を加え、環境に優しい農業技術の開発・普及を積極的に進めています。



良質堆肥の散布による土づくり / 使用済み資材の回収と適正処理 / 太陽熱を利用した土壤消毒 / 循環扇や二層カーテンによるハウス内暖房の効率化 / 木質パレット利用による重油等化石燃料使用の抑制 / コンテナ輸送の推進



わ け
選ばれる理由、知ってください。

～宮崎は「安全・安心」「健康」「環境」にまっすぐ取り組む産地です～

みやざきブランド推進本部
[宮崎県・JA宮崎経済連]

お手持ちの携帯電話で今すぐアクセス!



みやざきブランドの取組についてはこちらをご覧ください。